

平成29年度事業計画

平成28年中の刑法犯認知件数は57,293件(4,363件減・-7.1%)で14年連続で減少した。これは、警察、行政をはじめ地域に根ざした防犯ボランティア団体等の犯罪抑止活動の成果であり、戦後最高の平成14年(168,366件)の約34パーセントとなった。

しかし、空き巣などの住宅等への侵入窃盗や自動車盗は高止まり傾向にあるほか、高齢者を被害者とする「電話d e 詐欺(特殊詐欺)」は後を絶たず、安全な地域社会の実現には、なお多くの努力を必要としています。

平成29年度も、このような諸情勢をふまえ、犯罪のない安全で安心な地域社会の実現に寄与するため

- 安全で安心なまちづくり活動
- 少年の非行防止と健全育成活動
- 風俗環境浄化活動

を重点とし、以下の事業を推進する。

第1 安全で安心なまちづくり活動の推進

1 防犯意識の普及活動

(1) 広報啓発活動

ア 年間を通じた地域安全活動

- ・ 春の地域安全運動 (4月～5月)
- ・ 夏季における犯罪抑止活動 (7月～8月)
- ・ 全国地域安全運動 (10月11日～20日)
- ・ 年末年始における犯罪抑止活動 (12月～1月)

イ 2017地域防犯ボランティア県民大会の開催

「平成29年全国地域安全運動」及び「千葉県安全で安心なまちづくり旬間」の実施に伴い、期間中の10月中旬に「2017地域防犯ボランティア県民大会」を開催し、防犯功労者等に対する表彰等を行い県民の防犯意識の高揚を図る。

ウ マスコミ等の広報媒体の活用

地域安全活動に関する広報資料をマスコミ等の広報媒体に積極的に提供し、県民の防犯意識の高揚を図る。

エ 地区防犯協会と連携した広報啓発活動の推進

地区防犯協会の主催する防犯講習会やキャンペーン等の地域安全運動に参画し、地域の実情に応じたポスター、チラシ、キャンペーン用物資等の広報資料を作成配布し、より効果的な広報啓発活動を推進する。

オ 関係団体との連携強化

千葉県安全安心まちづくり協議会、千葉県自動車盗難等防止対策協

議会等の防犯関連団体の主催するキャンペーン等へ参加するなど、他団体の活動の支援、協力を通じて防犯意識の高揚を図る。

(2) 地域安全情報の提供

ア 「ちばけん防犯」の発行

協会広報紙「ちばけん防犯」を年2回発行し、犯罪情勢に応じた情報と防止対策を提供し、防犯意識の高揚を図る。

イ ホームページの充実、各種情報誌等の活用

ホームページの掲載内容をより充実し、県民のニーズに応じた防犯情報をタイムリーに提供するとともに、全防連発行の「安心な街に」を地区防犯協会、関係団体及び賛助会員等に配布して全国の防犯活動を紹介し、効果的な防犯活動の推進を図る。

2 地区防犯協会との連携と共働

(1) 防犯ボランティア団体の結成促進と活動支援

防犯ボランティア団体の結成を促進するため、新たに結成するボランティア団体に対し、活動用資材等の支援を行うほか、地区防犯協会等の主催する防犯講習会等への費用助成により、地域防犯活動の活性化を図る。

また、既存の防犯ボランティア団体の活性化を図るため、ボランティア活動に必要な活動マニュアル、活動用資材等を配布して活動を支援する。

(2) 防犯指導員等の拡充と育成

防犯指導員の高齢化等に伴う減少傾向に歯止めをかけるため、防犯指導員の拡充を図る募集広報等を展開するとともに、防犯指導員講習会等を開催し、防犯指導員等のスキルアップを図る。

(3) 大学生防犯ボランティア「ブルースターズ」の活動支援

次世代の防犯ボランティアとして犯罪抑止活動を展開している大学生防犯ボランティア「ブルースターズ」の活動を支援する。

3 防犯講習会、出前防犯教室の開催

防犯指導員等を対象に、空き巣等の侵入盗犯罪を防止するため、警察署、地区防犯協会、千葉県防犯設備協会等と連携して現地診断等による防犯講習会を開催する。

また、子どもや高齢者の犯罪被害防止を図るため、地区防犯協会、賛助会員等と連携して、感情認識ロボットや視聴覚資料を活用した「出前防犯教室」を開催する。

4 防犯優良マンション・防犯優良駐車場認定制度の普及促進

犯罪の防止に配慮した構造や設備などの防犯対策を取り入れたマンションやアパートが地域社会に幅広く根付くことで、県民の防犯意識の向上や安全で安心して生活できる社会の実現を目指すことを目的とした防犯優良マンション等認定制度について、警察、千葉県防犯設備協会、建築協会等の関係機関団体と連携を図り、認定制度を普及促進する。

第2 少年の非行防止と健全育成活動の推進

1 少年サポート活動への支援

少年センターの行う被害少年及び不良行為少年に対する立ち直り支援活動を支援するとともに、これら支援活動を通して、少年の規範意識の醸成と健全育成を図る。

- 2 大学生ボランティア「千葉県警察学生サポーター(ChiPPS)」の活動支援
少年問題に熱意のある大学生で構成する防犯ボランティア「千葉県警察学生サポーター(ChiPPS)」の活動を支援するため、活動用資材等を提供する。
- 3 少年の薬物乱用防止活動への支援
薬物や喫煙等の身体への有害性を訴えるため、少年センターが中学・高校生を対象として開催する薬物乱用防止教室の教養資材等を提供してその活動を支援する。
- 4 少年を取り巻く有害環境の浄化
「出会い系サイト」等の有害情報などへのアクセスから、子どもを守るためのフィルタリングについて、広報資料等により少年、保護者への広報啓発活動を推進する。
- 5 防犯ポスターの募集
県警察と共催し、青少年の健全育成と防犯意識の高揚を図るため、小・中学生から「地域安全運動・犯罪防止」をテーマに防犯ポスターを募集する。
優秀作品は「千葉県安全で安心なまちづくり旬間」の広報ポスターとするほか、防犯ポスター展を開催し、県民の防犯意識の高揚を図る。
- 6 タッチヤング千葉県少年柔道・剣道大会の後援
警察本部が少年の非行防止と健全育成に資する目的で開催する「タッチヤング千葉県少年柔道・剣道大会」を後援する。
- 7 関係機関と連携した少年非行防止活動
千葉県少年警察ボランティア協議会等の関係機関の活動に協力するとともに、少年補導員等のボランティア活動を支援する。

第3 風俗環境浄化活動の推進

- 1 少年指導委員、風俗環境浄化推進員等の活動支援
公安委員会が委嘱している少年指導委員や警察署長等が委嘱している風俗環境浄化推進員等の街頭補導活動や風俗環境浄化活動に対し活動用資材や資料を提供してその活動を支援する。
- 2 風俗営業管理者講習会の開催
「風俗営業の規制及び業務の適性化等に関する法律(第39条)」に基づき、公安委員会の委託を受け、風俗営業の管理者に対する法定講習会を実施する。
本年度は、約800店舗の管理者を対象として、概ね20回に分けて開催する。
- 3 風俗営業等からの暴力団排除気運の醸成
警察や暴力団追放県民会議等の関係団体と連携し、風俗営業管理者講習会、防犯講習会等のあらゆる機会を通じ、風俗営業や市民生活からの暴力

団排除気運を醸成する。

4 風俗環境に関する苦情等の処理

県民等から寄せられる風俗環境に関する苦情を受理し、警察や関係団体と連携して、清浄な風俗環境の保持を推進する。

第4 表彰

1 県表彰

永年、地域安全活動に従事し功労のあった団体及び個人、並びに防犯ポスターコンクール優秀者を表彰する。

2 全国表彰、管区表彰の上申

地域安全の模範的な活動をしている団体及び個人について、警察と協議の上、全国防犯協会連合会及び関東防犯協会連絡協議会に表彰を上申する。

第5 収益事業

1 自転車防犯登録事業の推進

自転車の適正な管理と盗難時等の早期被害回復などを目的とした自転車防犯登録事業について、警察本部及び自転車軽自動車商協同組合と緊密な連携を図り、迅速かつ正確な登録を推進する。

2 古物商許可標識等のあっせん及び風俗営業関係申請用紙等の販売

関係者からの申し込みにより、古物商許可標識、古物商行商従業者証等のあっせん及び風俗営業関係申請用紙等の販売を行う。

3 防犯機材等の販売

街頭犯罪などに遭った際に、周囲の人々へ助けを求めると同時に、不法行為の抑止に効果を有するとして、全国防犯協会連合会の推奨する防犯ブザー等の防犯機材の販売を行う。

第6 協会事務等

1 会議

(1) 理事会

第1回 平成29年4月、千葉市内で開催する。(決算)

第2回 平成29年5月、千葉市内で開催する。(役員選任)

第3回 平成30年2月、千葉市内で開催する。(予算)

(2) 通常総会

平成29年5月、千葉市内で開催する。

(3) 全国会議等

ア 全国防犯協会連合会専務理事会議	平成29年4月	都内
イ 関東防犯協会連絡協議会総会	平成29年6月	さいたま市
ウ 平成29年全国地域安全運動中央大会	平成29年9月	都内
エ 平成29年全国暴力追放運動中央大会	平成29年11月	都内

(4) その他

ア 千葉県銃器対策推進本部総会	平成29年7月	千葉市内
イ 千葉県安全安心まちづくり協議会総会	平成29年10月	千葉市内

ウ 千葉県自動車盗難等防止対策協議会総会 平成29年10月 千葉市内

2 活動資金の充実に向けた活動

協会事業への理解と協力を求め、賛助会員の獲得を推進するとともに、企業及び個人の社会貢献活動としての寄付の受け入れを拡充し、活動資金の充実を図る。

平成29年度 収支予算書（正味財産増減計算ベース）

平成29年 4月 1日から平成30年 3月31日まで

（単位：円）

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 特定資産運用益	2,000	2,000		
特定資産受取利息	2,000	2,000	0	
② 会費収入	9,397,000	9,397,000	0	
正会員受取会費	7,927,000	7,927,000	0	
賛助会員受取会費	1,470,000	1,470,000	0	
③ 事業収益	44,591,900	45,062,000	△ 470,100	
防犯優良マンション等認定事業収益	1,200,000	682,000	518,000	
管理者講習受託料収益	2,080,000	2,080,000	0	
自転車防犯登録受託料収益	36,900,000	37,800,000	△ 900,000	
防犯器具等販売収益	4,411,900	4,500,000	△ 88,100	
④ 受取補助金	2,363,949	2,266,482	97,467	
受取県補助金	1,480,000	1,480,000	0	
受取補助金等振替額	883,949	786,482	97,467	
⑤ 受取寄付金	2,500,000	2,500,000	0	
受取寄付金	2,500,000	2,500,000	0	
⑥ 雑収益	15,000	35,000	△ 20,000	
受取利息	5,000	5,000	0	
雑収益	10,000	30,000	△ 20,000	
経常収益計	58,869,849	59,262,482	△ 392,633	
(2) 経常費用				
① 事業費				
役員報酬	5,100,000	4,896,000	204,000	
給料手当	16,381,300	16,569,400	△ 188,100	
退職給付費用	940,010	501,980	438,030	
福利厚生費	3,797,897	3,762,030	35,867	
旅費交通費	1,837,970	1,826,904	11,066	
通信運搬費	1,234,165	1,263,365	△ 29,200	
減価償却費	948,640	852,156	96,484	
消耗品費	620,550	608,400	12,150	
印刷製本費	250,000	300,000	△ 50,000	
車両維持費	315,000	198,000	117,000	
光熱水料費	145,960	124,600	21,360	
賃借料	439,200	439,200	0	
行事催物費	1,050,000	1,310,000	△ 260,000	
広報資料作成費	4,375,500	5,345,500	△ 970,000	
防犯指導員団体総合補償保険料	970,000	970,000	0	
表彰費	521,000	598,500	△ 77,500	
認定審査費	1,200,000	682,000	518,000	
青少年健全育成活動費	630,000	680,000	△ 50,000	
風俗環境浄化活動費	1,120,000	1,216,000	△ 96,000	
自転車防犯登録作成費	6,850,000	6,850,000	0	
防犯器具等購入費	2,262,000	2,058,000	204,000	
支払負担金	318,000	338,000	△ 20,000	
租税公課	2,569,451	2,549,561	19,890	
事業費計	53,876,643	53,939,596	△ 62,953	

② 管理費			
役員報酬	900,000	864,000	36,000
給料手当	1,675,700	1,696,600	△ 20,900
退職給付費用	118,890	70,220	48,670
福利厚生費	469,403	464,970	4,433
旅費交通費	221,430	219,095	2,335
通信運搬費	160,835	174,635	△ 13,800
減価償却費	6,712	57,122	△ 50,410
消耗什器備品費	184,000	234,000	△ 50,000
消耗品費	68,950	67,600	1,350
印刷製本費	112,500	100,000	12,500
車両維持費	35,000	22,000	13,000
光熱水料費	18,040	15,400	2,640
賃借料	64,800	64,800	0
慶弔費	60,000	80,000	△ 20,000
会議費	290,000	285,000	5,000
諸謝金	810,000	810,000	0
租税公課	549	440	109
雑費	258,000	254,000	4,000
管理費計	5,454,809	5,479,882	△ 25,073
経常費用計	59,331,452	59,419,478	△ 88,026
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 461,603	△ 156,996	△ 304,607
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 461,603	△ 156,996	△ 304,607
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 461,603	△ 156,996	△ 304,607
一般正味財産期首残高	24,546,021	24,703,017	△ 156,996
一般正味財産期末残高	24,084,418	24,546,021	△ 461,603
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	△ 883,949	△ 786,482	△ 97,467
指定正味財産期首残高	1,414,544	2,201,026	△ 786,482
指定正味財産期末残高	530,595	1,414,544	△ 883,949
III 正味財産期末残高	24,615,013	25,960,565	△ 1,345,552